

もっと詳しく知りたい方へ・・・

女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

●文献情報データベース(所蔵検索)

http://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/



図書の貸出、新聞記事の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！

男女共同参画の視点からの災害復興・支援・防災



女性教育情報センター所蔵展示(1月~3月)



<https://www.nwec.jp/event/center/saigai18-1.html>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課
〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL:0493-62-6195
URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>



発行: 2018年1月

本文中画像: amazonより引用





まず
本、あり□。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///Vol.11///

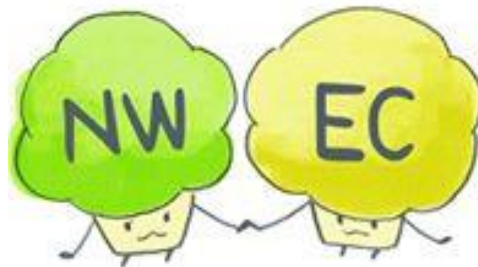
男女共同参画の視点からの
災害復興・支援・防災



男女共同参画の視点からの災害復興・支援・防災

東日本大震災から今年で6年が経ちます。
女性たちの被災経験を忘れずに生かすことで、復興や男女共同参画の視点に立った防災ハンドブックの作成につながっています。

災害は、誰でもいつでも遭う可能性があります。命を守るため、日頃からの備え、支え合いが大切です。



『災害復興とジェンダー』国立女性教育会館編
国立女性教育会館 2012

災害復興期の地域再生にはジェンダー視点に基づいた視点を不可欠であるとの観点から、平成23年度のNWEC国際シンポジウムは開催されました。

国内外における専門家の方々の報告がまとめられています。

NWEC災害復興支援女性アーカイブ

NWECと全国の女性関連施設等が連携して構築する、女性の視点からの災害復興支援活動の記録です。

更新日：2017/04/21 TOP

より詳細な条件で探す
ブラウズ
キーワード

参加・連携機関ホームページへのリンク

青森県男女共同参画センター
日本女性学習財団
静岡市女性会館
もりおか女性センター (準備中)
福島県男女共生センター

NWEC災害復興支援女性アーカイブは国立女性教育会館（NWEC）と全国の女性関連施設等が連携して構築する、女性の視点からの災害復興支援活動の記録です。女性関連施設等による復興支援を通じた地域コミュニティ再生実践の記録を収集・保存しています。

「災害」「東日本大震災」「地域づくり」などのキーワードで検索できます。
検索キーワードを入力して「検索」ボタンをクリックしてください

キーワードを入力 検索 クリア

施設・団体名

NPO法人フォトボイス・プロジェクト 公益財団法人 日本女性学習財団
 東京都大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」 男女共同参画と災害・復興ネットワーク
 静岡市女性会館

年度

2005年度 2007年度 2008年度 2009年度
 2010年度 2011年度 2012年度 2013年度
 2014年度 2015年度 2016年度

その他 イベント ワークショップ 上映会

http://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337wd

全国各地の女性関連施設が作成した
災害関連情報のデータベース集です！

Point!

全国の女性関連施設等
が参加中！

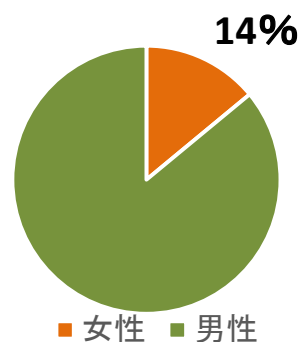
Point!

国立国会図書館の
アーカイブひなぎくとも連携！

まだまだ女性のリーダーが
少ないんだ。



地方公共団体の防災会議の委員
に占める女性の割合



参考：男女共同参画白書 平成29年版
平成28年4月1日現在

『男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック 第4版』
栃木県・とちぎ男女共同参画財団編 2015

『女性の視点で作った防災手帖 シニア版』
NPO法人MAMA-PLUG編 川崎市男女共同参画センター [2013]

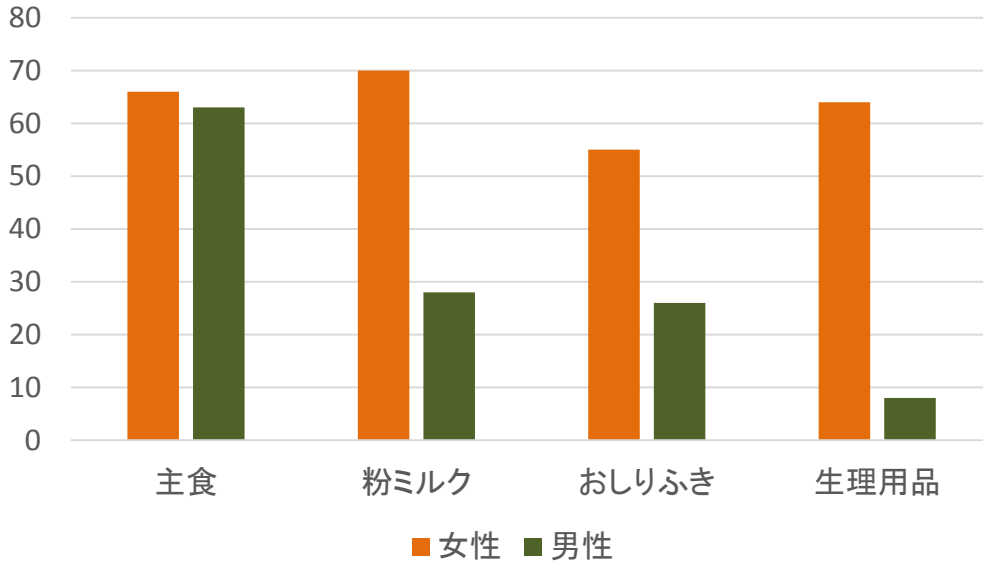
『男女共同参画の視点で取り組むわが家・わがまちの防災ハンドブック：
やまぐち版』
シンクロナイズネット [編] 2014

2015年に閣議決定された第4次男女共同参画基本計画では、
男女共同参画の視点からの防災や復興対策を施策に活用することが示
されています。

女性たちの被災記録

被災の影響は
男女によって違いがあります

備蓄や支援物資に対する要望



参考:内閣府「男女共同参画の視点による震災対応状況調査」平成23年

『3.11避難者の声:当事者自身がアーカイブ』
東日本大震災避難者の会Thanks&Dream編 2017

何気ない日常が災害によって一変した避難者1人1人の
経験が掲載されています。
いつでもどこでも起きうる災害への貴重な教訓となります。

『わたしたちのフォトボイス:撮る、語り合う、発信する:
3.11、現在、そして…』
フォトボイス・プロジェクト編 2015

NPO法人フォトボイス・プロジェクトは、東日本大震災被災
女性たちの経験を記録・発信するために発足しました。
被災者自身のメッセージと共に写真が掲載されています。

『女性の力で変革を：男女共同参画と災害・復興ネットワーク4年間の活動記録
2011-2015』
男女共同参画と災害・復興ネットワーク, 日本女性学習財団編 2015

東日本大震災後、全国の女性団体や個人が災害・防災政策にジェンダー視点の必要性を訴えました。

その活動の結果、国内法だけでなく国連防災世界会議「仙台防災枠組2015-2030」に明記されるまでの4年間をまとめた報告書です。

『災害の多い国々の専門家とともに考える未来：平成26年度国際ワー
クショップ』
神戸大学男女共同参画推進室編
2015

被災して見えてきた、無意識の中での性別役割分業や男性基準の避難所づくり。防災や減災における女性の視点、また地域の女性リーダーの必要性は災害の多い国々においても共通する課題です。

もっと詳しく知りたい方へ・・・

国立女性教育会館が提供する「女性情報レファレンス事例集」

<http://winet.nwec.jp/tictconsult/>

(280)2015年3月に、日本で国連防災世界会議が開催されましたが、女性に関する取組はなされたのでしょうか。

『女性のための防災BOOK』
マガジンハウス 2017

『女性目線で備える防災BOOK』
マガジンハウス 2017

被災体験をした女性への取材を通して、いざという時のために備えておきたいコトやモノを集めています。

これから防災対策したい人はもちろん、既に対策している人でも参考になる情報が満載です。

『防災かあさん』
みんなの防災部著 羽鳥書店 2015

『子どもを守る防災手帖：被災ママ1089人の声に学ぶ!』MAMA-
PLUG編・著 KADOKAWA 2016

子どもや家族を災害から守るために母親ができることはなにか。被災体験を通して学んだ必要な備えや災害を乗り切る知恵を、母親の視点を通して紹介しています。